

地球生態学 EP (教育プログラム)

山岳や海洋から農村や都市まで、すべての自然とその管理を学べます



こんなひとは地球生態学EPへ

- 生物や生態系、化石、地質に興味がある
- 自然環境問題を科学的に解決したい
- 自然科学や環境科学を発展させたい
- 自然のおもしろさを伝えたい

定員 30名

- AO入試 若干名
- 推薦入試 10名
- 一般入試 (前期) 20名



学びの分野

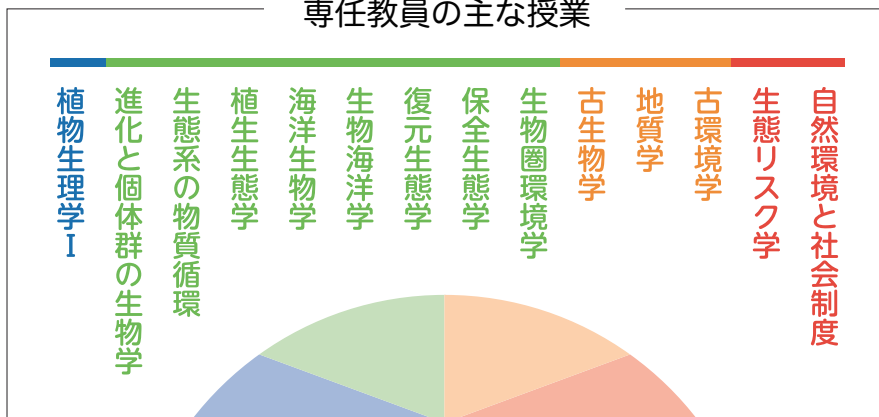
生態系と地球環境に関する科学（すなわち地球生態学）の教育と研究を行っています。基礎科学の教育とともに、自然環境の評価や設計・管理に関する教育を行うことで、自然を含めた総合的な地域計画や、人間による維持管理を含めた自然管理計画を立案できる人材を養成します。

- 基礎科学：地質学、古生物学、古環境学から分子生物学、植物生理学、進化学、個体群生物学、群集生態学、景観生態学、海洋生物学、生態系の物質循環にいたる分野について学びます。
- 応用科学：生態系の管理、生物多様性保全、地球温暖化後の生物予測、生物学的温暖化対策、土壌汚染対策、社会制度など生態リスク学を総合的に学びます。

特色

- 理学と農学を融合させた教育プログラムにより、環境学を本格的に学べる。
- 中学・高校理科の教員免許を取得しやすい。
- 自然環境を含めた、総合的な地域計画を学べる。
- 地球生態学の研究に工学の知識を取り入れることもできる（情報工学、流体力学、構造力学、地盤力学など）。
- 生態リスク学や生態系管理など世界でもトップクラスの研究に参加できる。

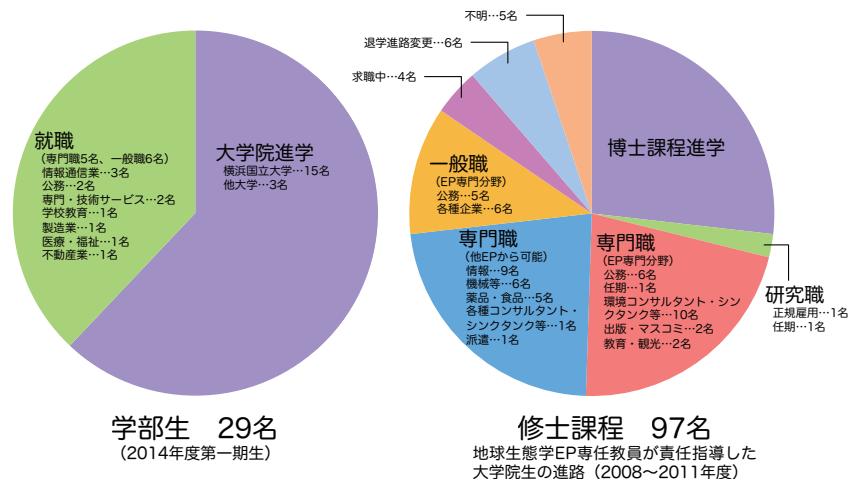
専任教員の主な授業



進路

大学院修士課程修了後も含めて、以下のような進路があります。

- 自然環境に関する公務員（国、政令指定都市、都道府県）
- 環境シンクタンク、環境コンサルタント、地質コンサルタントの技術者
- 中学・高校の理科教員
- 研究者（政府、自治体、大学、シンクタンクやコンサルタント）
- 科学と環境がわかる政治家・弁護士・マスコミ関係者



専任教員

	氏名	主な授業		氏名	主な授業
●●	松田 裕之 教授	「生態リスク学」	●●	持田 幸良 教授	「植生生態学」
●	及川 敬貴 教授	「自然環境と社会制度」	●●●	菊池 知彦 教授	「生物海洋学」
●●	金子 信博 教授	「生態系の物質循環」	●●●	下出 信次 准教授	「海洋生物学」
●●	中森 泰三 准教授	「生物圏環境学」	●●	中村 達夫 准教授	「植物生理学Ⅰ」
●●●	小池 文人 教授	「保全生態学」	●●	間嶋 隆一 教授	「古環境学」
●●	酒井 暁子 准教授	「進化と個体群の生物学」	●●	和仁 良二 准教授	「古生物学」
●●	森 章 准教授	「復元生態学」	●	石川 正弘 教授	「地質学」

● 植物	● キノコなど	● 岩石	● 生理・分子
● 動物	● プラントン	● 生態	● 法律・政治

応用研究と基礎科学研究を両方行っている教員が多数います。大学院では全員が環境情報学を担当しています。